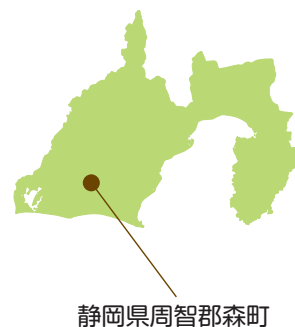


有限会社佐野ファーム

※2016年3月現在

代表者名	佐野 元洋	資本金	3百万円
設立年	2003年5月2日	売上高	147百万円(2015年4月期)
事業内容	生産(レタス類、トウモロコシ等)	経営規模	施設 9,240㎡、直売所 20㎡
従事者数	23人(うち女性9人。女性内訳:役員1人、一般職4人、常勤パート4人)		
女性活躍支援	<p>[女性に配慮して取組んでいる制度]</p> 休暇(産前産後・生理・育児)、育児休業後の継続就業支援 <p>[女性に配慮して取組んだ環境整備]</p> 施設設備関係(休憩室・屋内・野外トイレの設置)		



経営概況

(有)佐野ファームは、静岡県西部の森町において、2003年に法人化された農業法人である。有名総菜店との生鮮野菜の取引が法人化のきっかけであり、現在の生産の約8割をレタス生産が占めている。その他、約28haの圃場では、夏場のスイートコーン、米(自社内販売用)、ルッコラ、ミニトマトなどで輪作体系を組みながら、様々な農産物の栽培を通年で行っている。食の安全・安心について、出産・育児の中心を担う女性消費者がとくに高い関心を寄せていると考え、女性に受け入れられる食品を生産することを重要視してい

る。法人化以降、有機JAS認定、しずおか農水産物認証、JGAP認証を取得し、顧客満足度の高い、良質な商品を出荷することを旨としている。代表の理念に共感した23名のスタッフは、正社員・パートを問わず一つのファミリーであると捉えられ、20代から80代まで年齢層も幅広い。

1. 経営者の意識改革 ～女性を裏方から表舞台へ

法人化した当初こそ、県内の法人の経営陣が集う会合等で女性が参加することは稀であったが、そこで好意的に迎えられたことが、法人スタート時における大きな励みになったという。また、スイートコーンの最盛期に高速道路SAで行っている直販では、女性が販売員をしている場所の方が好成績で、固定客の確保に繋がっており、女性を活用していることの強みとして評価している。

かつての個人農家では、表舞台に立つのは男性、それを補佐するのは女性という状況が珍しくなく、個人経営の感覚が抜けない時期もあった。だが今日では、女性のきめ細やかな特長を活かした経営の推進が進められ、認証業務を通じた社内



制度の整備、対外的な折衝やPRに関する業務は、女性が推進役となる場面も多くなっている。

2. 役員体制における女性活躍の展望

役員は現時点では代表・佐野元洋氏と専務・佐野敦子氏の夫妻が務めており、それぞれの得意分野を活かして役割分担しながら、経営にあたっている。

近年、夫妻の長女である文美氏が後継者候補として入社し、インターネットにおける情報発信やカフェ構想など、若い女性としての感性を活かした活動に着手を始めている。同法人がこれまで育んできたファミリーとしての一体感を守りつつ、さらに次世代を担う有能なスタッフが入り、いつか幹部を務めてくるようになる日を期待しているところである。

3. 子育て・出産にかかる制度

現時点で産休取得中の女性社員が1名おり、これが佐野ファームにおける初の取得実績である。社会保険労務士からのアドバイスを受けながら、育休明けの継続的な就業支援などを実現していく計画である。

また、いのちを育む産業に従事しているという自負から、将来の消費者、あるいは社員候補になりうる子供たちをともに育てていくという意識で、諸制度の整備を行っていきたくと考えている。たとえば今後の展望として、夏休み中の一時預かり施設の類を設置するなど、幼稚園教諭経験のある敦子氏の知見を活かした構想も出ている。

4. 女性が働きやすい環境の整備

現場作業は行程毎に2～3名から5～6名の少人数の男女混成チームを組んであたり、正社員・

パートの別なく作業を分担し合う体制である。こうした体制により、急な休みに対応すると同時に、責任感を自覚することにも繋がっている。

女性や年長者は男性とくらべて相対的に腕力では引けをとるスタッフも多いが、農業機械の運転免許や農業技術検定などの取得を推進し、現場での不足部分は働き盛りの男性陣が分担するなどの配慮も自然に行われている。

また、定期的な話し合いの機会を設けることで、現場に発生する諸問題の改善から効率化のアイデアまでが共有できており、社内の一体感を生んでいる。

求人に対する女性の応募は増えており、現在雇用している女性社員4名のうち3名は県外出身である。

審査委員の声

トウモロコシの町として知られる森町には、夏になると農家があちこちで直売所を出す。同ファームも人気店のひとつ。店での接客、通販の対応、PRやイベントなどで女性スタッフが活躍している。

生産を統括する社長を支え、組織全般を管理する佐野敦子専務は経営に関する勉強会に積極的に参加し、異業種の社長に揉まれながら経営力を身に付けた行動力の持ち主である。

朝礼の実施、経営理念づくりなど組織づくりに心を配ってきた。社員にも社外研修の受講をすすめ、新しい仕事にも挑戦してもらうため率先して組織の活性化をおこなっている。

女性陣が中心となって開発したポップコーンを初めとするおしゃれな六次化商品の今後が楽しみだ。